

光を遮らず遮熱に特化した遮光ネット 「ダイオネオシェード清冷」



「ダイオネオシェード清冷」を展開した
トマトハウス(熊本県)

近年、日本の夏は異常な猛暑が続き、特に昨年の猛暑は記憶に鮮明に刻まれていると思います。ハウス栽培では、高温対策として遮光ネットを使用することが一般的ですが、作物の光合成を低下させるといった影響もあり、導入を躊躇されている方もいると思われます。

今回は、光を透過させつつ熱線をカットする新しい遮光・遮熱資材を紹介します。

光を遮らずに熱線だけをカット

遮光資材には、黒色、白色、シルバーグレー色など、さまざまな種類があります。今回紹介する(株)イノベックス「ダイオネオシェード清冷」は、透明度の高いクリアグレー色の商品となります。太陽光のうち熱の成分である赤外線を吸収して、ハウス内への侵入を遮断しますが、光合

成に必要な光は透過させます。これにより、従来の遮光ネットよりも光合成を妨げずにハウス内の温度を下げる事が可能となります。

性能とお勧めの使用方法

本ネットは、従来の遮光ネットに比べ光の透過を妨げにくいので、春先から秋口まで使用することが可能です。また、ネットが吸収した赤外線を効率よくハウス外に放出させるため、ハウス外張りでの使用が効果的です。(株)イノベックスの試作展張の結果からは、ハウス内の温度のみならず、作物体(葉面)の温度を低下させることも確認されており、暑さに対して作物自体にも好影響が予測されます(図1、2)。

また、これまで遮光資材を使用していないウリ科作物での導入も検討

されており、夏場の萎れと成り疲れの防止や秋までの収穫延長といった効果が期待されています。なお、作物向けのみならず、ハウス内で作業する方の労力負担軽減、熱中症対策としても有用です。

*遮光ネットは、お客さまのハウスサイズに合わせたオーダー加工のため、納品まで日数がかかるケースもあります。暑くなる前に導入の検討をお願いします。

●問い合わせ先

全農 耕種資材部 園芸資材課
TEL.03-6271-8310

【全農 耕種資材部 園芸資材課】

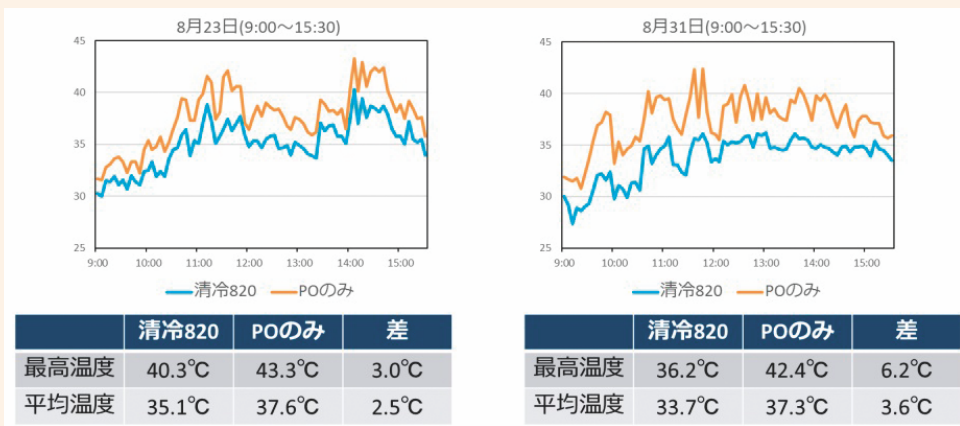


図1
ハウス内温度比較
(株)イノベックス調べ

図2
葉面温度比較
(株)イノベックス調べ

